

2006 年度

科目名 フィールド・リサーチ B	対象学科・学年 文学部コミ 2 回生 人間社 2 回生	担当者 岡島 克樹
授業テーマ 定性的調査法の基礎を取得する。		
授業の概要と目標 図書館で文献を調べる、現場に足を運んで自分の目で観察する、人に話を聞く、アンケートを配って答えてもらう。知りたい疑問の答えに関する情報を集めて、分析するリサーチの方法はさまざまある。この授業では、特に、定性的調査法と呼ばれるものの中から参与観察法とそこから得られた情報を整理する KJ 法を体験的に学ぶ。この授業は前期のフィールド・リサーチ法の授業を受講した者の履修が望ましい。		
評価方法 個人課題の提出・発表を見て判断する。		
テキスト 適宜指示する。	著者	出版社
参考書 適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 ＜スケジュール＞ 1. 調査報告書の基本： 調査結果と考察・感想は分ける！（シノプシス作成） 2. 前回の続き 3. 前回の続き 4. 参与観察の方法 5. 前回の続き 6. 個人課題作業日 7. 個人課題作業日 8. 個人課題作業日 9. 個人課題作業日 10. 調査結果の発表（パワーポイント） 11. 調査結果の発表（パワーポイント） 12. 調査結果の発表（パワーポイント） 13. 調査結果の発表（パワーポイント） 14. 調査結果の発表（パワーポイント） 15. まとめ ＜注意事項＞ 前年度に引き続き、今年度も受講生全員の調査報告書を読んで教員が調査内容の他、日本語の「てにをは」や段落構成まで詳しくコメントする（正確な日本語を書く、構成を考えて論理的にすっきりした文章を書く力を養うため）。課題提出が極端に遅れるとこうした指導ができないこともあるので、課題提出日の遵守をお願いする。		